

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

なぜ働くのか、それは国内外に事業を残すため 永守 重信(日本電産会長)

1. 最近では株式市場でも大きな企業が上場するケースをあまり耳にしなくなりました。売り上げ10億円くらいで上場して、小銭を稼いで万歳を叫んでいる経営者があまりにも多すぎる。アメリカでは大きな企業が次々に育っていることを考えると、日本企業がこれから本当に世界を相手に闘えるのか、実に危うい気がしています。
2. 上場企業に限らず、若い経営者には小さな業績ですぐに満足している人が多いですね。より高い山に登ろうと思ったら、絶対に苦しみを避けては通れません。その苦しみを引き受けて味わって、人生を送りたいと決意する若い世代の出現を待ちたいところです。
3. 私はもっとお金を儲けようとは思わないし、車にも乗らない。ぜいたくなものを口にすれば体に悪い。住む家は一軒あったらそれで十分です。それで朝から晩までなぜそんなに働くかといえば、事業を残そうと思うからです。NHK大河ドラマの渋沢栄一にしても、金儲けに生きたのではなく、事業を生み出してきたわけでしょう。渋沢は相場師ではなく事業家なんです。私もまた国内外に事業を残し、人々の働く場所をつくって、国にたくさんの税金を納めて経済を好循環させていくことのできる事業家でありたいし、そういう事業家をこれから育てていきたいと思っています。

(参考:「致知」2021年4月号)

経営者のための危機管理

いざというとき社員から借金できるか (松下幸之助)

東 昌樹(日経ビジネス編集長)

1. 経営の神様と呼ばれたパナソニック創業者の松下幸之助さんも幾多の困難を乗り越えました。「好況よし、不況さらによし」といった不況にまつわる言葉を多く遺した幸之助さん。著書の中で「いざというときに社員から借金できるか」と問いかけます。不景気で資金が不足し銀行も金を貸してくれない時に、社員の貯金がいくらあるかを考え、「いざという場合は彼らの金を使わせてもらおう」と腹をくくっていたそうです。
2. その信念に立って事に当たり、結局は借りずに済んだということが幾度かあったといいます。時代が違うとはいえ、社員の信頼関係や事業継続への揺るぎない意欲はすさまじいものがあります。どんな状況からでも何が何でも明日への道を見い出そうとしたのです。

(参考:「日経ビジネス」:2021年2月1日号)

人事・労務について

「アート思考」に企業が注目

1. ビジネスの場で、美意識や感性を基にした新しい発想「デザイン思考」「アート思考」が注目され、企業がクリエイティブ職以外でも美術大学、芸術大学生に注目するようになってきている。私立の有名美大の一つ、武蔵野美術大学では、「ここ数年、美大生が持つ思考力や課題、解決力を求める企業が増えている」ということから、2019年に「造形構想学部・クリエイティブイノベーション学科」を新設した。特徴は、実技課題はなく、学力試験のみという点だ。「造形的思考力」を養い、社会課題を解決できる人材の育成を目指す。こうした学部を持つのは全国の美大の中でも同大だけだ。
2. 武蔵野、多摩美大といった有名美大は、総合大学に置き換えると早稲田、慶応大学のようなものだろう。アーティストの道を選ばない場合でも、就職率はいずれも約7割と高く、一般的な大学とそう変わらない。

(参考:「週刊東洋経済」2021年2月20日号)

古典に学ぶ

ここ一番深く研究する

(解説) 多年の関係によって資本家と労働者との間に、せつかく結ばれたところの言うに言われぬ一種の情愛も、法を設けて両者の権利義務を明らかに主張するようになれば、勢い疎隔さるるに至りはすまいか。それでは為政者側が骨折った甲斐もなく、また目的にも反する次第であろうから、ここ一番深く研究しなければならぬところであると思う。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)